

会社の概要

(2022年3月31日現在)

会社概要

商号	株式会社学研ホールディングス (英文表示 GAKKEN HOLDINGS CO.,LTD.)
設立	1947年3月31日
資本金	19,817,453,638円
	〒141-8510
本店所在地	東京都品川区西五反田二丁目11番8号 TEL. 03-6431-1001(代表)
ホームページURL	https://ghd.gakken.co.jp/

取締役・監査役・執行役員

地位	氏名	地位	氏名
代表取締役社長	宮原 博昭	常勤監査役	景山 美昭
常務取締役	福住 一彦	常勤監査役	中村 雅夫
常務取締役	碓 秀行	社外監査役	山田 敏章
常務取締役	小早川 仁	社外監査役	長 英一郎
取締役	安達 快伸	上席執行役員	勝野 哲也
取締役	五郎丸 徹	執行役員	小林 徹
取締役	百田 顕児	執行役員	田中 薫
取締役	山本 教雄	執行役員	川端 篤
社外取締役	山田 徳昭	執行役員	渡辺 悟
社外取締役	城戸真亜子	執行役員	福田 晃仁
社外取締役	伊能美和子	執行役員	細谷 仁詩
社外取締役	Caroline F. Benton (キャロライン ベントン)		

株主メモ

事業年度	毎年10月1日～翌年9月30日
定時株主総会	毎年12月開催
	定時株主総会 毎年9月30日
基準日	期末配当金 毎年9月30日
	中間配当金 毎年3月31日
単元株式数	100株
	電子公告 https://ghd.gakken.co.jp/
公告方法	ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	三菱UFJ信託銀行株式会社

株式についてのお問い合わせ：三菱UFJ信託銀行 証券代行部

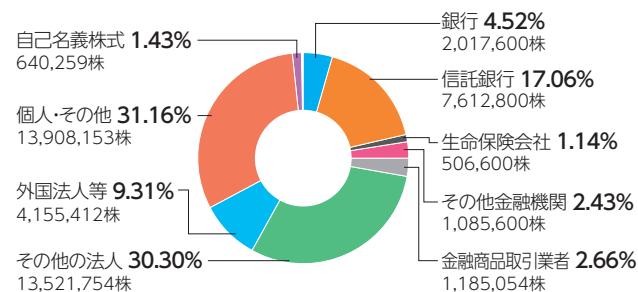
0120-232-711

オペレータ対応 受付時間 平日のみ/午前9:00～午後5:00

株式の状況

発行可能株式総数	159,665,600株
発行済株式の総数	44,633,232株
株主数	30,736名

所有者別株式分布状況



学研G・学研HD本社ビル等



健康経営優良法人
Health and productivity



株主通信 第77期 中間報告書

Gakken Value Report

2021年10月1日～2022年3月31日

株式会社学研ホールディングス

第58回全国児童才能開発コンテスト 図画部門 低学年の部 文部科学大臣賞 作品「あつい中じてん車をこぐ弟とわたし」 滋賀県 湖南市立石部小学校 3年 東 あいびさん

全国児童才能開発コンテスト

昭和38年に制定され、以来毎年行われている顕彰事業です。全国児童の「豊かな感性・情操」を養うとともに、「児童の基礎学力である「文章による表現・コミュニケーション能力」「創造的な表現力」「科学的な思考力」を育て、小学生の文化的・科学的才能の育成を目指しております。

Gakken 学研ホールディングス

Gakken



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに第77期（2021年10月1日～2022年9月30日）中間期株主通信をお届けいたします。当社グループは2020年11月策定の中長期経営計画「Gakken 2023」に基づき、中長期的な成長と株主・投資家重視の経営目標達成を目指しております。

当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高796億3,200万円（前年同期比 2.0%増）、営業利益43億2,500万円（前年同期より6億4,500万円減）、経常利益43億 8,800万円（前年同期より4億3,700万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益25 億4,600万円（前年同期より2億100万円増）となりました。

当期は、「揺るぎない成長基盤の確立」をスローガンとした3か年計画「Gakken2023」の2年目となります。

「Gakken2023」は、コロナ禍あるいはその後の新常態への適応を前提とし、中長期的な視座を持った成長投資を伴う3か年計画としております。

なお、当期は1株当たり1円増配し、12円の間配当を実施いたします。
引き続き安定的、持続的な配当を目標としてまいります。

株主の皆様には、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月

代表取締役社長

宮原博昭

グループ理念

私たち学研グループは
すべての人が心ゆたかに生きることを願い
今日の感動・満足・安心と明日への夢・希望を
提供します

グループビジョン

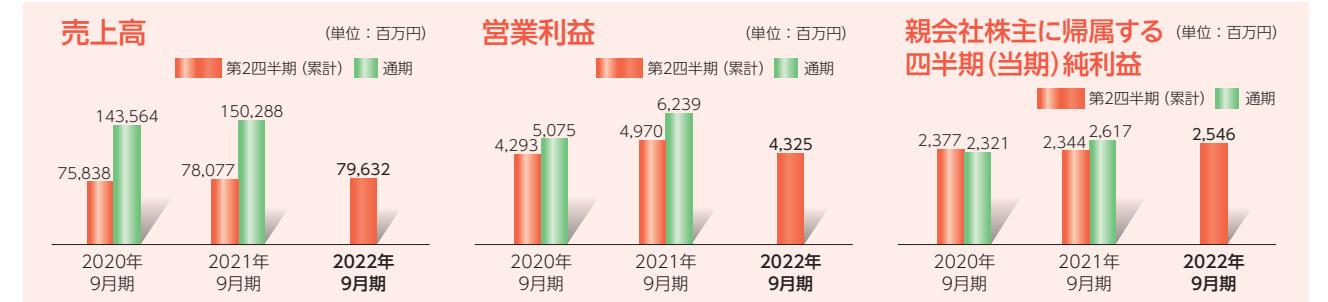
想像の先を、創造する



行動指針

人のため、社会のために
まなび続ける
情熱とスピード感を強さに
個の力を集団の強さに
現状に満足しない

財務ハイライト



セグメント情報

教育分野

学研メディカル秀潤社は、日本赤十字社から「金色有功章」
として表彰を受けました。



売上高 **41,438**百万円
営業利益 **3,517**百万円
(前年同期比 325百万円 減)

▶教室・塾事業

売上高 **15,858**百万円 営業利益 **682**百万円
+教室事業 デジタルサービスの顧客単価上昇、めばえ教室譲受等により増収増益
+塾事業 オミクロン株流行で生徒獲得に影響も、顧客単価上昇等で減収増益

▶出版コンテンツ事業

売上高 **17,090**百万円 営業利益 **2,285**百万円
+出版は児童書好調、地球の歩き方の売り上げが貢献し、増収増益
+医療看護はeラーニングが堅調に増加したが、医学書・看護書の販売減で減収減益

▶園・学校事業

売上高 **8,489**百万円 営業利益 **707**百万円
-幼児教育 保育園・幼稚園の休園の影響、ICT事業への投資などで減収減益
-学校教育 教科書部数の減少、GIGAスクール関連事業への開発投資等で減収減益
-社会教育 採用支援事業、教員免許更新eラーニング事業収斂等で減収減益

医療福祉分野

メディカル・ケア・サービス
株式会社「健康なっと」を2022年2月にリニューア
ルしました。 mcsj.co.jp/kentatsu/



売上高 **35,211**百万円
営業利益 **1,192**百万円
(前年同期比 93百万円 減)

▶高齢者住宅事業

売上高 **15,620**百万円 営業利益 **458**百万円
+新規に4事業所5棟(新設2棟、承継3棟)を開発、累計179事業所に拡大。入居率の向上で増収増益



学研の新たな街づくり拠点として、3月に「ココファン廿日市」がオープン。

▶認知症グループホーム事業

売上高 **16,774**百万円 営業利益 **954**百万円
+事業所を2棟開設し、累計285棟に。入居率が堅調に推移するも、コスト上昇、新規事業先行投資等で増収減益

▶子育て支援事業

売上高 **2,815**百万円 営業利益 **10**百万円
+保育園の定員充足率は安定、不採算園の定員変更や閉園、学童利用者増で増収増益

その他

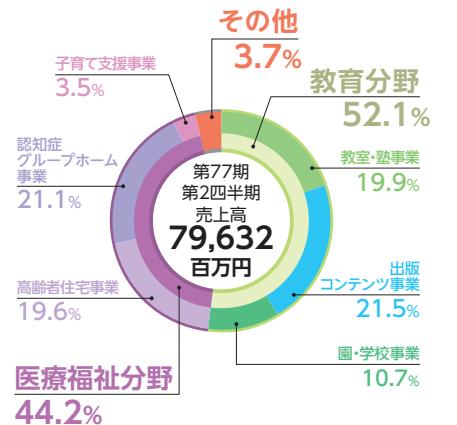
学研グループの海外事業、物流、シェアードサービス等を担当



売上高 **2,983**百万円
営業利益 **532**百万円
(前年同期比 28百万円 増)

+新興国向けODAならびにコンサルティング事業が好調、DX加速のため設立した新会社の順調な進捗で増収増益

売上高構成比



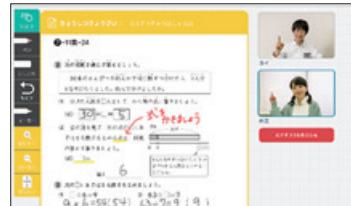
第76期より報告セグメントを、教育分野、医療福祉分野、その他の3セグメント構成に変更し、前年度との比較は変更後の構成に基づいております。



教育分野

教室・塾事業 (塾グループ、学研エデュケーショナル、文理)、出版コンテンツ事業 (学研プラス、学研メディカル秀潤社、学研ステイフル、TOKYO GLOBAL GATEWAY、地球の歩き方)、園・学校事業 (学研教育みらい、ジェイテックスマネジメントセンター)

双方向オンライン学習サービス『学研教室オンライン』スタート



2022年3月、小学生を対象に学研教室の「算数・国語」の学習ノウハウがオンライン上で享受できる「学研教室オンライン」サービスがスタートしました。会員はバーチャルの教室に

2回通い、オンライン学習用にデジタル化された学研教室教材を用いて学習を進めます。自身で分からない問題があれば、随時先生とビデオ通話を繋いで指導を受けることも可能です。無料体験学習や保護者向け説明会の動画配信を行い、認知を拡大させていきます。(教室・塾事業 学研エデュケーショナル)

超異色コラボ『地球の歩き方ムー』が大ヒット！

2022年2月10日に発売した「地球の歩き方ムー」が、発売2ヵ月弱で6刷11万部決定。共に1979年創刊のロングセラーブランド「月刊ムー」と「地球の歩き方」が長年のノウハウを結集してコラボした異色のガイドブックが、SNSやマスコミで話題となり大ヒット。今後も同様のビジネスモデルを活かし、続編や他業種とのコラボにて事業拡大を図ります。(出版コンテンツ事業 地球の歩き方)



DtoC*新サービス『たいけんポケット』スタート

2022年春、学研プラスは、学研教育みらい、学研ステイフルとの3社連携により、年長児向けのD to C新サービス「たいけんポケット」をスタートしました。月額2,420円で、各社で販売している絵本・図鑑・キットをセットにし、毎月ご自宅にお届けします。コンセプトは保護者アンケートでニーズの高かった「体験」。コロナ禍でも、自然・科学・社会等のプチ体験を、近所や家など身近な場所で行えます。2月のサイトオープンと同時に募集を始め、4月からお届けを開始。今後サービス拡大を図ってまいります。

(出版コンテンツ事業 学研プラス)



『みらい授業フォーラム』サイト開設



GIGAスクール構想における新しい学びに関する研究事業である「みらい授業フォーラム」WEBサイトを、教科書発行の同業である教育出版株式会社と共に立ち上げました。多様な学びの機会を創出するとともに、「誰ひとり取り残さない教育」を目指す全ての先生方と、子どもたちの「わかりたい」願いに応えることで授業における困りごとをサポートしていきます。
<https://www.mirai-jf.jp/> (園・学校事業 学研教育みらい)

医療福祉分野

高齢者住宅事業 (学研ココファン)、認知症グループホーム事業 (メディカル・ケア・サービス=MCS)、子育て支援事業 (学研ココファン・ナーサリー)

Gakken多世代スクエア吹田SSTオープン



2022年3月、学研グループの複合拠点「Gakken多世代スクエア吹田SST」が大府吹田市にオープンしました。この拠点は、パナソニックを中心に先進企業15団体と吹田市で取り組む「Suita サスティナブル・スマートタウン」内に誕生。「教育」×「福祉」のリアルサービスを総合的に提供する場として、最新鋭のシステム導入や多世代が日常的に交流できる動線などを実現しました。地域住民の健康で心ゆたかな暮らしをサポートしていきます。(高齢者住宅事業)

高齢者福祉施設棟数業界1位

株式会社総合ユニコム発行「シニアビジネス データブック2022」の高齢者施設データ&ランキングにて、学研グループは総合ランキング1位となりました。このランキングは2021年10月末時点での、介護付有料老人ホーム、住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、高齢者グループホーム、その他高齢者向け施設・住宅の施設数の多い順にランキングしており、総施設数457棟で、2年連続の第1位です。(医療福祉分野全体)

中国成都市に介護施設をオープン

中国国内の高齢化による介護事業の需要の高まりを受け、中国成都市に介護施設「舒養之家・海桐苑」をオープンしました。主に要介護・半自立・自立高齢者に「日本式リハビリテーション」「スマート介護」「医療・介護連携」などのサービスを提供。リハビリ室や娯楽室、食堂を完備し、入居前と変わらない充実した生活を可能にします。(認知症グループホーム事業)



こども園環境リニューアル

前期から進めている学研ココファン・ナーサリー運営の保育園「ココファン・ナーサリー」リブランディングプロジェクトの一環として、学研ビル地下1階の「Gakkenこどもえん」の内装をリニューアルしました。ねらいを持った各保育室の環境構成、子どもが夢中で遊べる環境と情報発信などの役割を持ったオープンスペースの設置など、新たなブランドのイメージを構築し、顧客満足度の高い園づくりのモデルとしています。

(子育て支援事業)



*D to C：企業がECサイト等で直接顧客に販売するビジネスモデル

▶第76期より、「教育分野」「医療福祉分野」の2セグメント体制に変更しております。

特集

DXとグローバルに向けた取り組み



学研グループは、グローバル、デジタル領域の新規ビジネス創出加速を目的として、新会社Gakken LEAPを設立、在日外国人向けメディアを運営するジープラスメディアがグループインしました。また、アイ・シー・ネット株式会社は新たに2か所海外の拠点を設立しました。

Gakken LEAPを設立 **NEW!**

2021年12月1日、次世代の教育・福祉を切り拓くため、先端のITアーキテクトやエンジニアをチームアップし、教育・福祉関連市場における非連続的成長モデルを創出するためGakken LEAPを設立しました。Gakken LEAP独自のサービス開発に加え、学研グループ各社は、Gakken LEAPを通じて、先端技術スタートアップを含むパートナーの拡充や、新技術に対する知見・ノウハウの蓄積を実現し、新たな事業の創出に繋がっていきます。

G-LEAP

ジープラスメディアがグループイン **NEW!**

2022年4月1日、訪日・在日外国人向け英字ニュースサイトとして高い知名度を誇る「Japan Today」や、外国人向け総合情報サイト「GaijinPot」などのインパウンドメディアを複数運営するジープラスメディア社がグループインしました。新しい顧客基盤に加え、外国語メディア運営やサービス開発ケイパビリティはグループ全体の「デジタル」「グローバル」の加速に貢献すると考えております。ジープラスメディアの「スタンドアローンな成長」と、「新たなシナジー創出」を進め、企業価値向上に努めてまいります。

GPlusMedia

海外拠点を拡大(アイ・シー・ネット株式会社) ベトナム企業との資本提携

2022年4月、ベトナム最大級の園・習い事・教育情報プラットフォームを運営するKiddiHub社との資本業務提携に関する契約を締結しました。本提携は東南アジア戦略の第一歩の位置づけになります。学研グループのコンテンツ力とベトナム国内で7000を超える園を顧客に持つKiddiHub社の顧客基盤・IT開発力をかけあわせ、ベトナムNo1プレイヤーを目指し、Online & Offlineで子どもたち、教育関係者にサービスを届けていきます。



トルコに現地法人(アイ・シー・ネット株式会社) 「Gakken Turkey」設立

2022年4月、トルコに現地法人「Gakken Turkey(通称)」を設立しました。ODA事業で培ったノウハウと人脈を活かし、科学技術人材育成のニーズが高い中東地域において、トルコを拠点にSTEAM教育ビジネスを展開します。学研グループのSTEAM商品やサービスを販売し、中東におけるGAKKENブランドを確立します。



新社長談話

学研グループのDX戦略 デジタル化の スピードアップが使命

学研ホールディングス執行役員
Gakken LEAP代表取締役社長 ジープラスメディア会長

細谷仁詩



「Gakken LEAP」設立の 経緯についてお聞かせください。

中期経営計画「Gakken 2023」では、成長に向けてグローバルとDXを軸に据えています。これまで学研ホールディングスにデジタル事業本部を置いて進めてきましたが、それだけでは従来のやり方や既存コンテンツ、営業チャンネルに頼らなければならず、スタートアップのスピード感には追いつけませんでした。

こうした中、学研ホールディングスの経営層は学研の目指す教育・医療福祉とは何なのかを改めて議論を重ね、「特に教育では出版や物販、塾等の事業をばらばらにデジタル化しても進みが遅いので、一丸となって、これまでとは異なるスピードで進めなくてはならない」という考えに至りました。

Gakken LEAPは、従来の考え方にとらわれず、非連続的な事業の創出を目指し、当社グループのデジタル化を推進していきます。

Gakken LEAP設立後の 重点活動についてお聞かせください。

まず、従来の当社グループにはないほど、エンジニア、ビジネスディベロッパーの採用活動を積極的に展開しています。End-to-Endでサービスを構築するケイパビリティを自社にもつことで、機動性高くサービスを開発し、アップデートしていく仕組みを構築しています。

その仕組みを活用して、既に学研グループ内のサービスの内製化に着手しております。また、CVCを通じて、多くのEd-Tech企業と関わりを持ちはじめ、既に3件、投資実行をしました。

新しいサービスとしては、「大人の学び」を視野に入れて進んでいます。学研は子ども向け事業に強く、医療福祉事業にもかなり力を入れています。これらの蓄積を使って、「大人の学び」の分野でも学ぶ人に応じ、アダプティブな形でやってまいります。

用語解説

- ビジネスディベロッパー: 新規事業立ち上げ責任者
- End-to-End: 通信ネットワークの経路
- ケイパビリティ: 組織として持つ、他社より優位な強み
- CVC(コーポレート・ベンチャー・キャピタル): 事業会社が自社の戦略目的のために行うベンチャー投資
- アダプティブ: 新しい環境、異なる環境への適応力